

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2000-322341

(43)Date of publication of application : 24.11.2000

(51)Int.Cl.

G06F 13/00

H04L 12/54

H04L 12/58

(21)Application number : 11-126802

(71)Applicant : NEC CORP

(22)Date of filing : 07.05.1999

(72)Inventor : YOSHIDA HIROYUKI

(54) METHOD FOR DISPLAYING ELECTRONIC MAIL CONTENT

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To display only the content of a part of an e-mail text desired by a specific user for the user even in the case of performing simultaneous distribution to a plurality of users by adding a content display system program and providing a set key being a specific symbol in a sentence.

SOLUTION: A content display system program is added to the existing e-mail system. When an e-mail is simultaneously distributed to a plurality of users, a set key being a specific symbol is provided in a sentence, and the user name of a transmission destination is registered in a transmission mailing list. The content display system program erects a flag in a sentence placed between the set keys. When the e-mail is received, the content display system program changes the font of characters to the background color of sentences except a sentence between a set key and the next set key in the case the flag exists, and the whole text including the part where colors are changed is shown on the display.

LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 20.04.2000

[Date of sending the examiner's decision of rejection] 12.02.2003

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2000-322341

(P 2 0 0 0 - 3 2 2 3 4 1 A)

(43) 公開日 平成12年11月24日 (2000. 11. 24)

(51) Int. Cl. ⁷	識別記号	F I	テーマコード (参考)
G06F 13/00	351	G06F 13/00	G 5B089
H04L 12/54		H04L 11/20	B 5K030
12/58			9A001

審査請求 有 請求項の数 6 O L (全 7 頁)

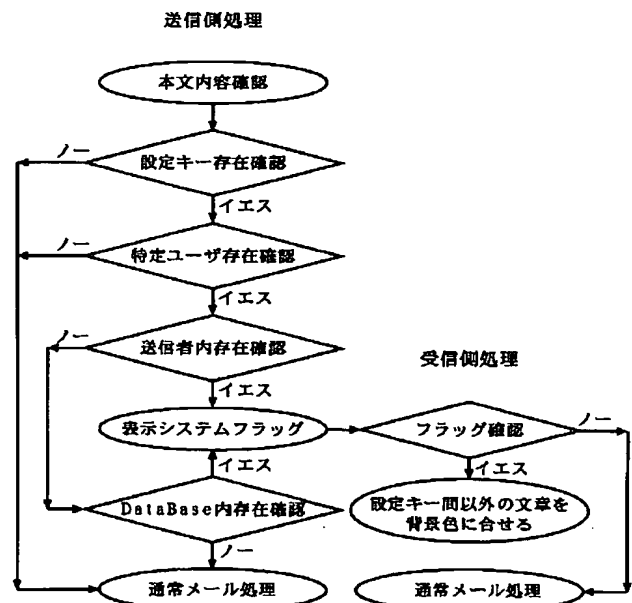
(21) 出願番号	特願平11-126802	(71) 出願人	000004237 日本電気株式会社 東京都港区芝五丁目7番1号
(22) 出願日	平成11年5月7日 (1999. 5. 7)	(72) 発明者	吉田 裕幸 東京都港区芝五丁目7番1号 日本電気株式会社内
		(74) 代理人	100086645 弁理士 岩佐 義幸
		Fターム (参考)	5B089 GB03 JA31 KA02 KC28 LA01 LA09 LA11 LA19 LB22 5K030 GA18 HA06 HC01 HC13 LA19 LE11 9A001 BB04 CC07 JJ14 KK56 LL03

(54) 【発明の名称】 電子メールのコンテンツ表示方法

(57) 【要約】

【課題】 電子メール複数ユーザ同時配信における、特定ユーザ向けコンテンツ表示方法を提供する。

【解決手段】 コンテンツ表示システムプログラムは、電子メールのテキスト部分に記述された設定キーを検出する。設定キーに設定されたユーザ名が送信メーリングリストまたはデータベースにユーザ名があるか否かを判断する。データベースおよび送信メーリングリストにユーザ名があるとき、コンテンツ表示システムプログラムは、設定キーで挟まれた文章にフラグを立てる。電子メールを受信すると、コンテンツ表示システムプログラムは、文章中にフラグがあるか否かを判断する。設定キーと次の設定キーとの間以外の文章を背景の色に文字のフォントを変更し、色を変更した部分を含めて全文をディスプレイに表示する。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】既存の電子メールシステムに内容表示システムプログラムを追加し、電子メールを複数ユーザへ同時配信するときに、文章中に特定の記号である設定キーを設けることによって、ユーザごとに必要な文章が表示可能となることを特徴とする電子メールの内容表示方法。

【請求項 2】前記内容表示システムプログラムは、複数ユーザへ同時配信するときのテキスト文章中の前記設定キーの中に書かれた特定のユーザに対して、前記設定キーと次の設定キーの間の電子メール本文を表示し、その他の文章の文字を受信側の表示画面の背景色と同じ色とすることを特徴とする請求項 1 記載の電子メールの内容表示方法。

【請求項 3】設定キーは、ユーザがキャラクター文字、数字、記号および英字により一対になるように任意に設定することを特徴とする請求項 2 記載の電子メールの内容表示方法。

【請求項 4】電子メールで複数ユーザ同時配信をおこなうとき、テキスト文章中の設定キーの中に書かれた特定のユーザに対して、前記設定キーと次の設定キーの間の電子メール本文をフラグを立てて、受信側で前記フラグにより前記電子メール本文を表示画面に表示し、その他の文章の文字を前記表示画面の背景色と同じ色とする内容表示システムプログラムを送信側および受信側の電子メールシステム備え、電子メールのテキスト文章中に前記設定キーと前記設定キーの中の特定のユーザ名とを記述することにより、複数のユーザへ異なった文章を同時に配信可能なことを特徴とする電子メールの内容表示方法。

【請求項 5】a) 送信側のメールソフトが本文の内容を確認するステップと、

b) 設定キーが本文中にあるか確認するステップと、

c) 前記設定キーの中の特定ユーザ名を判断するステップと、

d) 前記特定のユーザ名が送信するメールリストと一致するか確認するステップと、

e) メールリストと一致した場合、特定ユーザ向けに対して内容表示システムを対応するようにフラグを立てるステップと、

f) メールリストと一致しない場合、メールリストの中の対応ユーザリスト（データベース）にアクセスを行い、特定ユーザ名と一致するか確認し、一致した場合はフラグをたてるステップと、

g) ステップ b, c, e で一致しない場合は、フラグをたてず、通常メール処理をおこなう通常電子メールとなるステップと、

h) ステップ f で全ての処理が終了すると、電子メールは送信待機するステップと、を含むことを特徴とする請求項 4 記載の電子メールの内容表示方法。

【請求項 6】a) 電子メールを受信すると受信側内容表示システムプログラムは、受け取ったメールに内容表示システムのフラグが有るかの確認を行うステップと、

b) フラグがあった場合、設定キーと設定キーとの間の文章のみを表示し、それ以外の文章は、背景の色にあわせるようにするステップと、

c) フラグがない場合、通常のメールとして受け取り、表示処理し処理を終了するステップとを含むことを特徴とする請求項 4 または 5 記載の電子メールの内容表示方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、電子メール複数ユーザに対する同時配信における内容表示に関する。

【0002】

【従来の技術】従来の電子メールの同報配信の一例が、特開平 6-291779 号公報に記載されている。この公報に記載された電子メールシステムは、入力部によって入力された基本となる文書データを管理する文書データ管理部と、文書データ管理部で管理されている文書データを表示する表示部と、文書データ管理部の文書データの内容を変更する文書データ変更部と、送信先にデータを送信する送信部とを備える。

【0003】入力部を用いて文書データを作成し、文書データの中から送信先に応じて行単位またはブロック単位で文書データ変更部で編集し、編集された文書データを送信先へ同報送信する。この種の電子メールにおける複数ユーザ向けに同時配信を行った場合、同じ内容が各ユーザに表示される仕組みになっている。

【0004】電子メールシステムは、オリジナル文章の一部分を選択または新たに加えて、送信することにより、同時配信時に異なる情報を簡単にグループごとに分配することが可能である。つまりオリジナル文章は、送信先の全てのユーザが共有する同時一斉配布を行うことはしない。この電子メールシステムは、セキュリティの要素を持つ。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】従来の電子メールの同時配信方式では、特定のユーザにだけ本文の一部の内容の通知が考慮されていないのである。電子メールにおいて複数ユーザ向けに同時配信を行った場合、全てのユーザに対して内容の全てが必要であるとは限らない。そういった場合、必要でない文章を、必要があるところを発見するまで目を通す必要がある。

【0006】さらに従来の電子メールの同時配信方式では、特定のユーザにだけ知らせる方法を考慮されていない。特定ユーザ向けに同時配信を行うメールの内容の一部だけを知らせたい場合、送信元のユーザは、複数同時配信を終えた後、もしくは、そのユーザのみを複数同時配信リストから取り除いた後、知らせたい内容以外を削

除して、改めてメールを送る必要がある。

【0007】電子メールシステムは、同時一斉配信の利点を生かし文章中に特定の記号を設けることにより送信先のユーザの各々に必要な文章を配信することが必要であった。

【0008】本発明の目的は、複数ユーザ同時配信を行った場合においても、特定ユーザ向けに対して、そのユーザが欲しい電子メール本文の一部の内容だけを表示させることができる電子メールの内容表示方法を提供することにある。

【0009】本発明の他の目的は、欲しい内容だけを知らせることにより、より短時間にメールを読むことができるようになり、メール処理の効率化を行うことができる電子メールの内容表示方法を提供することにある。

【0010】本発明のさらに他の目的は、本文の内容を削除せずに、必要なところだけを表示させること（強調したい部分を明確にできる）が可能であり、必要に応じて本文全体を見ることができ、情報の欠如を防ぐことができる電子メールの内容表示方法を提供することにある。

【0011】

【課題を解決するための手段】本発明の電子メールの内容表示方法は、既存の電子メールシステムに内容表示システムプログラムを追加し、電子メールを複数ユーザへ同時配信するときに、文章中に特定の記号である設定キーを設けることによって、ユーザごとに必要な文章が表示可能となることを特徴とする。

【0012】本発明の内容表示システムプログラムは、送信元のメールソフトが設定キーを本文中にあるかどうかを確認し、設定キーの中の特定ユーザに対して、内容表示システムを対応するようにフラグを立てる。

【0013】特定ユーザは、受け取ったメールに内容表示システムのフラグがあるかの確認し、設定キーと設定キーとの間の文章のみを表示し、それ以外の文章は、背景の色にあわせて、特定ユーザからは読めないようにして、知らせたい内容だけを結果的に表示させるようにする。

【0014】

【発明の実施の形態】本発明は、電子メールを複数ユーザへ同時配信するときに、文章中に特定の記号である設定キーを設けることによって、ユーザごとに必要な文章が表示可能となる電子メールの内容表示方法である。この電子メールの内容表示方法は、既存の電子メールシステムに本発明の内容表示システムプログラムを追加することにより実現する。

【0015】ユーザは、電子メールを送信するとき送信先のユーザ名を送信メーリングリストへ登録する。送信するとき、この内容表示システムプログラムは、電子メールのテキスト部分に記述された設定キーを検出する。設定キーに設定されたユーザ名が送信メーリングリスト

にあるか否かを判断する。無い場合は、データベースを検索しデータベース内にユーザ名があるか否かを判断する。データベースおよび送信メーリングリストにユーザ名があるとき、内容表示システムプログラムは、設定キーで挟まれた文章にフラグを立てる。この状態で電子メールは、送信先へ送出される。

【0016】電子メールを受信すると、内容表示システムプログラムは、電子メールのテキスト文書を検索し、フラグがあるか否かを判断する。判断の結果フラグがあるとき、設定キーと次の設定キーとの間以外の文章を背景の色に文字のフォントを変更し、色を変更した部分を含めて全文をディスプレイに表示する。これにより、あたかも指定したユーザに対して必要な文章を送信ができる。

【0017】さらにここで設定について詳細に説明する。送信者および受信者は、本発明の内容表示システムプログラムをそれぞれの電子メールシステムに追加する。送信者は、送信メーリングリストにユーザ名を登録する。送信者および受信者は、表示内容システムプログラムに設定キーの登録（例：「 」）をおこなう。

【0018】ここで具体的な文例を示し説明する。

【0019】

【例文1】電子メール本文（設定キーは「 」）

1 2 3.

「 田中 」

4 5 6.

「 鈴木 」

7 8 9.

「 」

0 1 2.

とする電子メールを作成し、送信する。送信先では、田中氏向けには“1 2 3. 4 5 6. 0 1 2.”が表示される。鈴木氏向けには“1 2 3. 7 8 9. 0 1 2.”表示される。田中氏、鈴木氏以外は全文が表示される。

【0020】本発明の実施例を図1から図3を参照して詳細に説明する。図1は、本発明の実施例の動作を示す図である。図2は、本発明の送信側の動作を示す図である。図3は、本発明の受信側の動作を示す図である。

【0021】図2に示すようにユーザが電子メールを作成すると、内容表示システムプログラムは、まず、送信側のメールソフトが本文の内容を確認する（ステップA1）。次に設定キーが本文中にあるか確認する（ステップA2）。設定キーの中の特定ユーザ名を判断する（ステップA3）。その名前が送信するメールリストと一致するか確認する（ステップA4）。メールリストと一致した場合、特定ユーザ向けに対して内容表示システムを対応するようにフラグを立てる（ステップA5）。メールリストと一致しない場合、メールリストの中の対応ユーザリスト（データベース）にアクセスを行い、特定ユーザ名と一致するか確認し、一致した場合はフラグをた

てる(ステップA6)。ステップA2, A3, A5で一致しない場合は、フラグをたてず、通常メール処理をおこない通常電子メールとなる(ステップA7)。ステップA6で全ての処理が終了すると、電子メールは送信待機する。

【0022】電子メールを受信すると受信側内容表示システムプログラムは、受け取ったメールに内容表示システムのフラグが有るかの確認を行う(ステップB1)。フラグがあった場合、設定キーと設定キーとの間の文章のみを表示し、それ以外の文章は、背景の色にあわせるようにする(ステップB2)。フラグがない場合、通常のメールとして受け取り、表示処理し処理を終了する(ステップB3)。

【0023】さらに具体例を例文2を用いて詳細に説明する。例文2は、本発明の実施の形態の動作の具体例を表すのに使用する例文である。

【0024】

【例文2】

TO: 部長各位殿(bucho-all@abc.co.jp)

課長各位殿(kacho-all@abc.co.jp)

FM: 水野

RE: 展示会情報

展示会に行き参りましたので、ご報告致します。全般的に人の入りは昨年度と比べて非常にすくなく、不況の影響を感じずにはおれません。

〔セントラル社〕

最新の装置を展示

「田中B, 高橋K」

セントラル社から売り込みに来週こちらに訪問する予定です、ご対応願います。

「杉田B」

セントラル社との取引が可能かどうかコメント願います。

「杉田B」

〔ファイナンス社〕

最新の若者をターゲットにした作品の展示

「桑原取締役」

ファイナンス社は非常に驚異です。緊急ミーティングを行う必要性があります。

「 」

以上

送信側ユーザは、上述のような文章を作成し、表示内容システムプログラムへセットする。

【0025】表示内容システムプログラムは、文章を検索し設定キー“「 」”があるか否かを検索する(ステップA2)。設定キーの存在を確認すると設定キーの中にある受信側ユーザ名の存在を確認し(ステップA3)取得する。TO以下に格納された送信メーリングリ

ストにステップA3で取得したユーザ名があるか否かを判断する(ステップA4)。ここでは「田中B, 高橋K」, 「杉田B」, 「桑原取締役」を取得する。ステップA4の判断で、「田中B, 高橋K」, 「杉田B」は、送信メーリングリストに記述されているので“「 」”と“「 」”との間を表示するようにテキスト文章の中にフラグを立てる。送信メーリングリストに記述されていない「桑原取締役」は、データベースを検索することで確認し(ステップA6)、テキスト文章の中にフラグを立てる。この電子メールは、送信待機状態となりその後送信される。

【0026】受信された電子メールがどのように表示されるかを例文3から例文5を用いて説明する。

【0027】例文3は、例文2における田中B, 高橋Kの受けとる文章である。

【0028】

【例文3】

TO: 部長各位殿(bucho-all@abc.co.jp)

課長各位殿(kacho-all@abc.co.jp)

FM: 水野

RE: 展示会情報

展示会に行き参りましたので、ご報告致します。全般的に人の入りは昨年度と比べて非常にすくなく、不況の影響を感じずにはおれません。

〔セントラル社〕

最新の装置を展示

「田中B, 高橋K」

セントラル社から売り込みに来週こちらに訪問する予定です、ご対応願います。

〔ファイナンス社〕の若者をターゲットにした作品の展示

以上

のように「田中B, 高橋K」の関係するところ以外の文字は、背景色と同色となりあたかも表示されていないかのように表示される。

【0029】次に、例文4は、例文2における杉田Bの受けとる文章である。

【0030】

【例文4】

TO: 部長各位殿(bucho-all@abc.co.jp)

課長各位殿(kacho-all@abc.co.jp)

FM: 水野

RE: 展示会情報

展示会に行き参りましたので、ご報告致します。全般的に人の入りは昨年度と比べて非常にすくなく、不況の影響を感じずにはおれません。

【セントラル社】
最新の装置を展示
「杉田B」
セントラル社との取引が可能かどうかコメント願います。

「杉田B」
【ファイナンス社】
最新の若者をターゲットにした作品の展示
以上
となる。

【0031】例文5は、例文2における桑原取締役の受けとる文章である。

【0032】

【例文5】

TO: 部長各位殿 (bucho-all@abc.co.jp)

課長各位殿 (kacho-all@abc.co.jp)

FM: 水野

RE: 展示会情報

展示会に行って参りましたので、ご報告致します。全般的に人の入りは昨年度と比べて非常にすくなく、不況の影響を感じずにはおれません。

【セントラル社】
最新の装置を展示
【ファイナンス社】
最新の若者をターゲットにした作品の展示
「桑原取締役」ファイナンス社は非常に驚異です。緊急ミーティングを行う必要性があります。

「

以上
となる。

【0033】また設定キーおよび送信先のユーザ名である「田中B、高橋K」、「杉田B」、「桑原取締役」は、送信先の表示するときに表示することも可能である。

【0034】本発明は、複数の送信先に同一文章を設定キーにより必要な箇所の文字の色を変更する。送信先のそれぞれのユーザは、必要な箇所に素早く目を通すことが可能となる。さらに必要に応じて送信先のユーザは、文字色または背景色を変更することにより全文を見ることが可能となる。

【0035】

【発明の効果】本発明の電子メールの内容表示方法は、メールの特定キー選別により、特定ユーザ向けに対して、必要な内容のみを表示させることができるようになる。つまり、電子メールの複数ユーザ同時配信を行ったとしても、特定ユーザ向けに対して、内容の一部のみを表示させる事が簡単にできるようになるので、メールの再送信、2度手間の作業（内容の一部を変更して送信）を行わずにすみ、送信者の効率化を図ることができる。

【0036】電子メールは、全文を全員に送信しているが各々の指定したユーザごとに必要な文章以外の箇所の文字が背景色と同じになる。逆にこのことは、文字の色または背景色を変更することで全文を見ることができ

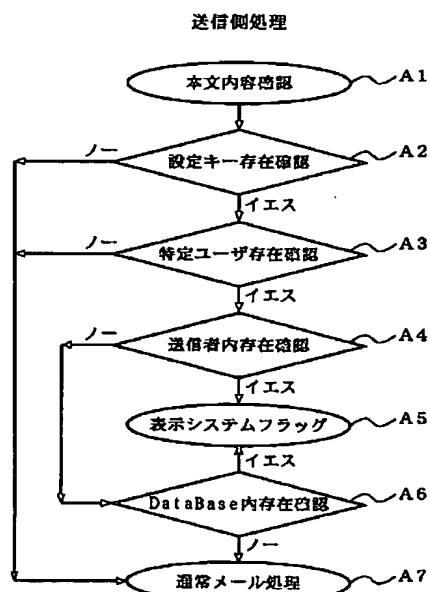
【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施例の動作を示す図である。

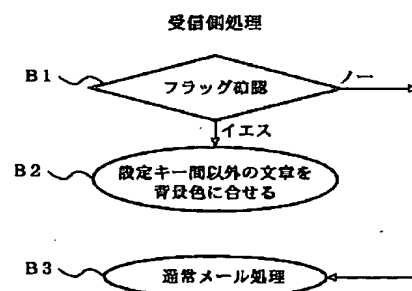
【図2】本発明の送信側の動作を示す図である。

【図3】本発明の受信側の動作を示す図である。

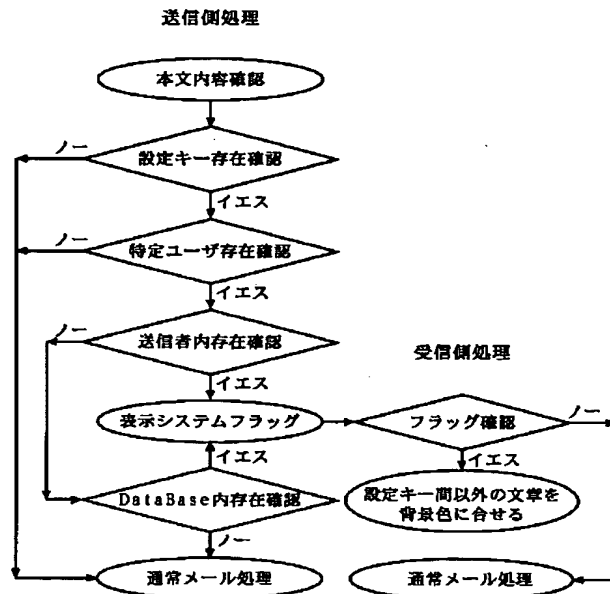
【図1】



【図2】



【図3】



【手続補正書】

【提出日】平成11年11月5日（1999. 11. 5）

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】既存の電子メールシステムに内容表示システムプログラムを追加し、電子メールを複数ユーザへ同時配信するときに、文章中に特定の記号である設定キーを設けることによって、ユーザごとに必要な文章が表示可能となることを特徴とする電子メールの内容表示方法。

【請求項2】前記内容表示システムプログラムは、複数ユーザへ同時配信するときのテキスト文章中の前記設定キーの中に書かれた特定のユーザに対して、前記設定キーと次の設定キーの間の電子メール本文を表示し、その他の文章の文字を受信側の表示画面の背景色と同じ色とすることを特徴とする請求項1記載の電子メールの内容表示方法。

【請求項3】設定キーは、ユーザがキャラクター文字、数字、記号および英字により一対になるように任意に設定することを特徴とする請求項2記載の電子メールの内容表示方法。

【請求項4】電子メールで複数ユーザ同時配信をおこなうとき、テキスト文章中の設定キーの中に書かれた特定

のユーザに対して、前記設定キーと次の設定キーの間の電子メール本文をフラッグを立てて、受信側で前記フラッグにより前記電子メール本文を表示画面に表示し、その他の文章の文字を前記表示画面の背景色と同じ色とする内容表示システムプログラムを送信側および受信側の電子メールシステム備え、電子メールのテキスト文章中に前記設定キーと前記設定キーの中の特定のユーザ名とを記述することにより、複数のユーザへ異なった文章を同時に配信可能なことを特徴とする電子メールの内容表示方法。

【請求項5】 a) 送信側のメールソフトが本文の内容を確認するステップと、
b) 設定キーが本文中にあるか確認するステップと、
c) 前記設定キーの中の特定ユーザ名を判断するステップと、
d) 前記特定のユーザ名が送信するメールリストと一致するか確認するステップと、
e) メールリストと一致した場合、特定ユーザ向けに対して内容表示システムを対応するようにフラッグを立てるステップと、
f) メールリストと一致しない場合、メールリストの中の対応ユーザリスト（データベース）にアクセスを行い、特定ユーザ名と一致するか確認し、一致した場合はフラッグをたてるステップと、
g) ステップb, cまたはeで一致しない場合は、フラッグをたてず、通常メール処理をおこない通常電子メールとなるステップと、

h) ステップ f で全ての処理が終了すると、電子メールは送信待機するステップと、を含むことを特徴とする請求項 4 記載の電子メールの内容表示方法。

【請求項 6】 a) 電子メールを受信すると受信側内容表示システムプログラムは、受け取ったメールに内容表示システムのフラグが有るかの確認を行うステップと、

b) フラグがあった場合、設定キーと設定キーとの間の

文章のみを表示し、それ以外の文章は、背景の色にあわせるようにするステップと、

c) フラグがない場合、通常のメールとして受け取り、表示処理し処理を終了するステップとを含むことを特徴とする請求項 4 または 5 記載の電子メールの内容表示方法。